

大分県内NPOの新型コロナウイルスの感染拡大影響及び支援に関するアンケート 調査報告書

2020年（令和2年）4月17日報告

実施団体：（特非）おおいたNPOデザインセンター



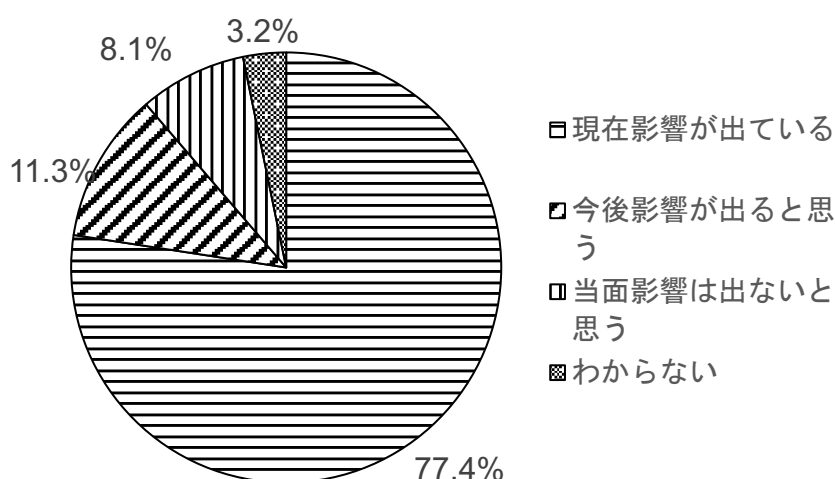
■アンケート概要

- ◎目的：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大によるNPO法人・市民活動団体が、2月～4月現在で受けている影響を可視化し、社会に発信することを通して、お互いの不安や工夫を共有し、必要な対話や国や県への支援、連携につなげることを目的に行った。
- ◎配布方法：当法人ホームページ、facebook ページ、twitter に掲載、会員メーリングリストで配布
Facebook メッセンジャーで直接NPO関係者に配布
大分県管理「おおいたNPO情報バンクおんぼ」に掲載
メールアドレスがわかるNPOへメール配布
- ◎実施期間：2020年4月6日（月）8：00～4月15日（水）18：00
- ◎回答方法：web入力（62）、回答票をFAX（1）、回答票をメール（0）
- ◎回答数：63 有効回答62（NPO法人45、任意団体10、無回答6、企業1）

この緊急アンケートを実施するにあたり、大分県県民活動支援室に広報など協力をいただいた。また回答いただいた団体には、大変な状況のなか協力をいただき、関係して下さった皆様に感謝の意を申し上げます。以下に設問ごとの集計、考察を加え報告する。

■アンケート集計とまとめ

◇1. 新型コロナウイルス感染拡大により「活動」の支援者・利用者に影響が出ていますか。



全般的に、回答いただいた団体の約77%が「現在影響が出ている」状況である。「今後影響が出ると思う」団体は11%で、NPOの活動における新型コロナウイルスの影響は大きいと考えられる。「当面影響は出ないと思う」と回答した団体の活動分野は、環境、障がい者福祉の分野であった。

◇1-2. (問1で「1 現在影響が出ている」と回答された方) 具体的な影響の内容を教えてください。

※活動分野ごとに主な回答を抜粋(文面はいただいた通りに掲載。以下同様)

【福祉：障がい者支援、高齢者支援、食育】

- ・ 障害者施設で利用者の欠勤が増えた。体温測定で用心するため。企業からの仕事が減少している。
 - ・ イベントの開催が出来ません。料理教室など生徒さんがキャンセルになりました。
 - ・ メンバーが、国内広範囲に居住の為、総会の開催が困難になっている。
 - ・ イベント等の実施が出来ない為、障害者の方の社会参加の場・交流ができず、自立支援に繋がっていない。
 - ・ 地域の集い場の開催中止。認知症の症状が進んできている方などが心配です。
 - ・ 歌声カフェをはじめ定期的な活動を休止している。
 - ・ 感染対策による自粛からの利用者の減少→収益の減少。
- 活動することによる、感染リスク(対策)。マスクの不足。スタッフの確保(開所時間延長による)。等

【子育て支援、青少年健全育成：子ども食堂、学童保育ほか】

- ・ 利用者の増加でスタッフが足りない。事務作業が追いつかない
 - ・ 支援をしたいけど、利用者が自粛している為
 - ・ 子育てひろばの運営閉所
 - ・ 相談事業では来所相談の制限、障害児の通所支援では学校の休校に伴う利用の拡大、自立援助ホームでは入居する児童の仕事の制限などがあります
 - ・ 4月予定の県下の児童養護施設の子どもたちに呼びかけてきた「筍掘り」が中止。法人の総会が延期。
 - ・ 大学、高校などへのプログラムの中止
 - ・ コロナ対策の手洗い石鹸、マスク等が手に入りにくい。
 - ・ 会合が開けない。
 - ・ 講演会の講師のキャンセルが続いている
 - ・ 通常開催ができなくて、別対応を予定している
 - ・ 活動が延期・中止となり、いつできるのか先が見えない状況。楽しみにしていた活動に参加できず、子ども達は家の中に閉じこもる状況が続いている。
- また、協力関係にある劇団・音楽団体などの創造団体は公演が3月4月とキャンセルや延期が続く中、資金的に立ち行かなくなっており、深刻な状況に陥っている。
- ・ 活動がハードになり、スタッフの確保が難しく、また、長期戦になりそうなので、疲労蓄積がみられる。

【まちづくり、経済活動】

- ・ イベント自粛
- ・ 展示館の開閉館の判断にせまられている。
- ・ 毎週恒例の高齢者サロンや食事会、毎月恒例の地元住民誕生日会などが中止を余儀なくされてます。また、通常のコミュニティレストラン営業も自粛要請がありお客さんが減っていること、消毒、手洗い、マスクに加えて、混んできたら、相席にしないで、外で待っていただくこと。少し肌寒い日も寒気を優先していることなどがあります。
- ・ イベントの中止(主に譲渡会の中止)
- ・ メンバーにエステサロンや飲食店などの個人事業者がいますので皆さん自粛休業してます。

【文化、スポーツ】

- ・活動の全面自粛 ・イベントの延期や定期的な教室が中止 ・人を集めての活動が不可
- ・各種セミナーや音楽イベント事業の開催自粛や開催延期により、活動が全くできない。
- ・ラグビーを通して子ども達の心身を鍛え、自主性や協調性を養わせる活動をしていますが、ラグビーが出来ない状況が続いています。
- ・活動停止のため、事業収入なし。中学生は全国大会が決定しているのに準備ができない。
- ・利用者のキャンセル、文化活動団体の練習ができなくなっている
- ・ウオーキング大会を中止しています為、参加費の収入がなし。

【社会教育】

- ・市民公開講座の延期をしました。
- ・学校や高齢者施設での活動で、3密の中で行うので、活動が全てストップしている。

【環境保全】

- ・「アースデイおおいた2020」の4月19日開催を11月3日に延期しました。また打ち合わせ等の出席者が減少。定例会議の開催が不可能
- ・行事の中止 4月なのに年間行事が全く立てられない=予算立てもできない

【国際協力】

- ・語学教室の開催を延期中。活動に関する会議やイベント等を自粛している。

【そのほか、分野記入なし】

- ・集合研修が開催できず、収束待ち。 ・活動の変更、延期、中止など
- ・施設の閉館に伴い業務がおこなえず、また補償も無く赤字となっている。
- ・イベント、高齢者宅への訪問、ボランティア募集等の自粛

◇1-3. (問1で「2 今後影響が出ると思う」と回答された方) どんな影響が考えられますか。

※活動分野ごとに主な回答を抜粋

【福祉：障がい者福祉、高齢者福祉】

- ・集まることそのものできなくなる
- ・精神障がい者を預かっていてマスクをするように言っても理解ができない。ご家族の方が協力できない方たちがいるので、もし地域にコロナが出てしまった時は、影響が出てしまうかもしれないです。毎月受診をしているし、抵抗力が弱いので感染しやすくコロナの認識できてない方もいる。
- ・利用者の減少、補助金交付が不明

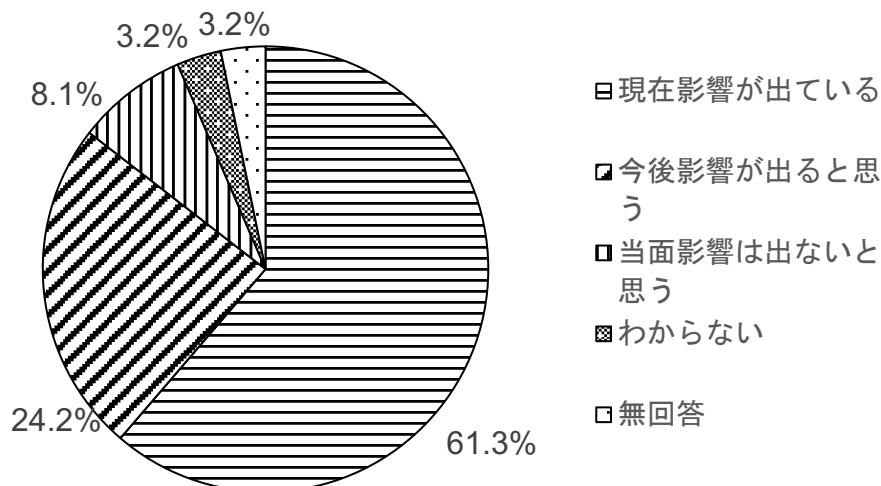
【環境保全】

- ・生産業務の制約、商品の売り上げ・受注の減少

【そのほか、活動記載なし】

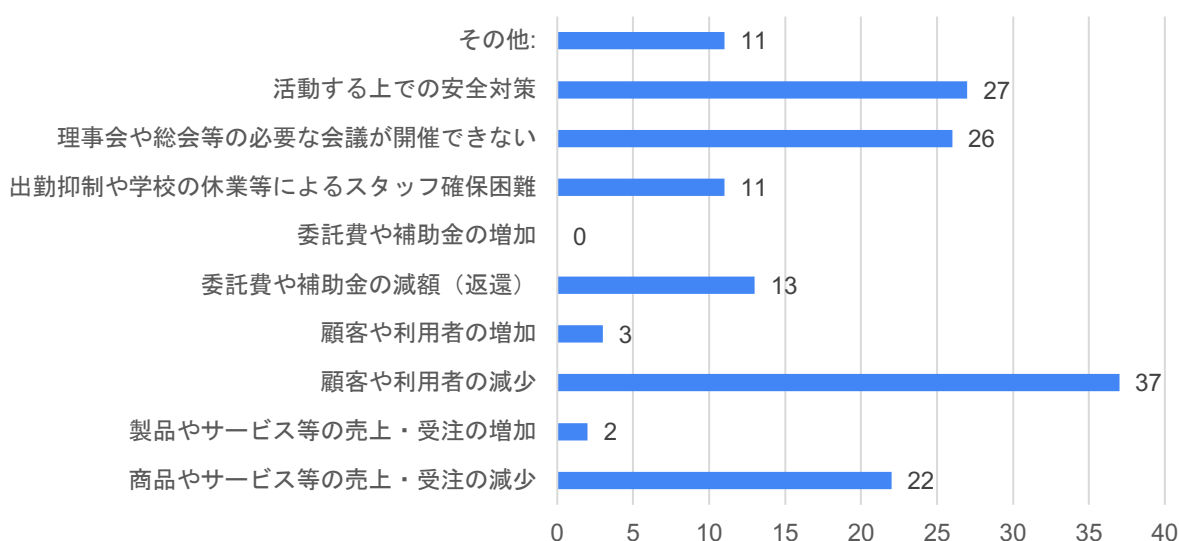
- ・10名以上のイベントは、落ち着くまでは、開催できないと思う
- ・毎月のマルシェ及び大学との協働、地域活動のスケジュールも決定が延びるか、中止になる可能性も。

◇2. 新型コロナウイルスの感染拡大により「法人経営、団体運営」に影響が出ていますか。



法人経営や団体運営においても、「現在影響が出ている」と回答いただいた団体が約61%と多く、「今後影響が出ると思う」団体は約24%で、NPOの経営、運営における新型コロナウイルスの影響も大きいと考えられる。「当面影響は出ないと思う」団体は、障がい者支援団体で自前で店舗を構えている団体や、地域でサロンなど運営している団体であった。

◇2-2. (問2で「1 現在影響が出ている」または「2 今後影響が出ると思う」と回答された方) 具体的な影響内容を教えて下さい(複数回答可)



経営や運営での「現在影響が出ている」「今後影響が出ると思う」一番の内容は「顧客や利用者の減少」が37ポイント、次いで「活動する上での安全対策」27ポイント、「理事会や総会等の必要な会議が開

催できない」26ポイントでした。商品等の売り上げ減少、委託費の減額、学童保育のスタッフ確保など、それぞれの活動内容によっても大きな影響がでてきている。

また、「その他」の主な意見は次の通りであった。

- ・講演会等の活動計画を立てることができない
- ・事務局員のテレワーク
- ・団体活動の方針の共有
- ・翌年以降の会費の減
- ・活動の延期日程を調整するが再延期になったりと、計画が立てられない状況。活動が出来ない間に、会員がはなれていくなどの状況にならないか、不安を抱えている。
- ・当法人は学童運営も行っている為、休校からの開所要請によっては見通しがつかめない。(夏休み等長期休暇はどうなるのか)。また助成金が上乗せされたが、対応する事務作業(煩雑な書類)の増加も伴っている。今後、利用者の減少によっては継続活動にも支障がでてくると思われる。
- ・主たる業務の制約

◇2-3. (問2-2で「1 商品やサービス等の売上・受注の減少」「3 顧客や利用者の減少」「5 委託費や補助金の減額(返還)」を回答された方)その見込額を教えてください。

※活動分野ごとにまとめた。不明等と回答したものは省く 単純計算で金額月平均106万円の減額

【福祉：障がい者福祉、高齢者福祉】

- ・月5万円程度
- ・約2カ月で20万円
- ・現在は約20万円程度/月
- ・月25万前後
- ・一月分で900,000~1,000,000円
- ・月額1,000万円

【子育て支援、青少年健全育成：子ども食堂、学童保育ほか】

- ・半分以上減少
- ・80万円
- ・約100万円

【まちづくり、経済活動】

- ・約2万円
- ・10万円
- ・35万~50万
- ・290万円

【文化、スポーツ】

- ・30万円
- ・200万
- ・約12万円/月
- ・40万円/月

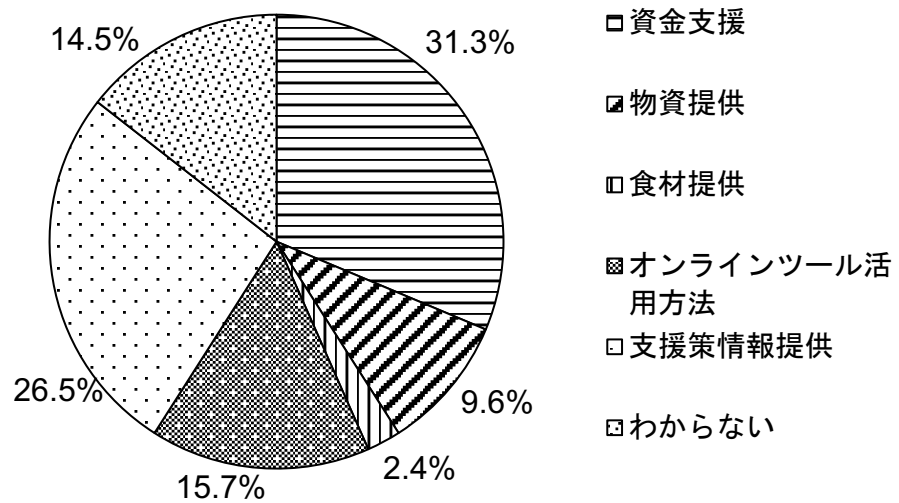
【環境保全】

- ・20~30万円程度

【そのほか、活動記載なし】

- ・3月売上は約8万円減少(受講者22%減少)
- ・3月だけで30万円
- ・月額換算で83万

◇3. 必要な支援策について、当てはまるものを選択してください。(複数選択可)



必要な支援策としては、「資金支援」をあげる団体が約31%と最も多く、次いで「支援策情報提供」が約26%、「オンラインツール活用方法」が約15%であった。今後先が読めずに「わからない」と回答する団体も比較的多いと思える。

◇3. 問3で回答された項目で希望する具体策を教えてください。

※活動分野ごとでまとめ

【福祉：障がい者支援、高齢者支援、食育】

- ・ 消毒液の不足。(物資) 国保連への請求金額の減少 (資金)
- ・ 高齢者事業所にはアルコールもマスクも降りてきません。コロナ対策を行ないたくてもできません。せめて空気清浄機と加湿器を下さい。
- ・ ネット環境整備
- ・ 無利子資金援助
- ・ オンラインで当事者会の運営

【子育て支援、青少年健全育成、子ども食堂】

- ・ 運営資金などの助成、活動場所の提供
- ・ 補助金・助成金の情報提供
- ・ オンライン教育の構築、オンライン会議の体制づくり
- ・ 衛生用品の支給、安全対策の指導
- ・ ご家族の状況等によってテレワーク等を実施しているが、ツール(パソコンやタブレット)を貸し出せるようにしたい。マスクやアルコールハンド除菌などの物資が不足しています。
- ・ 活動(舞台公演)を延期・中止にした場合の劇団(創造団体)に対する補償金や損害額を支援してほしい。
- ・ 施設等の利用禁止やイベントが自粛のため収入源がないので、給与の補償をしてもらいたい。今の状況が落ち着いたところで、休んでいた分の収入は見込めない。

【まちづくり、経済活動】

- ・国や県からの補償をはじめとする経済的な支援
- ・給付金 借金は現状無理

【社会教育】

- ・活動をどう行えばいいか、違う視点からの意見などいただきたい
- ・手洗い石鹸、マスク、空気清浄機

【環境保全】

- ・政府の支援策について小規模事業所が利用しやすいものにしてほしい。
- ・行事ができない以上参加費を補填する代替はないと思う
- ・オンラインツールを希望しますが、関係者にインフラが無く無理ですね。

【文化・スポーツ】

- ・罹患者の行動履歴の提供
- ・支援のための補助金の情報を迅速にほしい
- ・事務局スタッフの賃金
- ・事務所家賃及び経費等の補助

【国際協力】

- ・総会、理事会の書面決議の方法や、休業や自粛に関連した助成・補助金等の情報

【そのほか、分野記入なし】

- ・予算通りに委託費を契約希望する
- ・イベント開催でのマスクや消毒液の提供
- ・パソコン教室をしているので授業をオンラインのリモートサポートできる物また Zoom などのミーティング機能の活用
- ・テレビ会議導入費用など

◇4. 現在、法人や団体で新型コロナウイルス感染拡大防止のため、どのような対策をされていますか。

※活動分野ごとに主な回答を抜粋

【福祉：障がい者支援、高齢者支援、食育】

- ・三密開催延期、中止
- ・日々、利用者、職員の体温測定。出入口に消毒液の設置。朝、昼、夕方ドアノブ、手すり等の消毒作業等。病院へ行くときはまず、電話連絡してから薬などのアドバイスを聞く。
- ・消毒の徹底。加湿器や空気清浄機。消毒薬が無い為、ドクダミ草で作った秘伝薬での消毒。換気。
- ・室内に電解水を噴霧、手洗い、マスク

- ・先日のブルーライトのイベントは、縮小した。集まる人数を最低限にして短時間で解散した。
- ・活動する会員数を著しく制限して業者さんに業務をお願いしている。その際に業者さんには業務2週間前から検温などの体調管理をお願いして、体調不良の方が居る場合には交代を要請する体制をとっている
- ・マスク着用、手洗い、席を離す、換気など。東京にいていたスタッフの仕事復帰まで2週間待機
- ・社内啓発/注意、在宅ワーク
- ・換気や、マスク着用など。不特定多数が集う場所は開催中止。

【子育て支援、青少年健全育成、子ども食堂】

- ・マスク、手洗い、換気、うがいの徹底、消毒
- ・次亜塩素酸水・日用品や自宅待機されるお子様へのおやつやレトルト・インスタント食材の配布
- ・毎朝の職員の検温、各事業所での除菌に関する取り組み、テレワークなどの導入等
- ・県下の児童養護施設に配布する筈を少数で回数を増やして筈掘り。
- ・接触を極力避けるプログラムの実施
- ・電話やメールで相談を受けている
- ・活動の延期や中止、会議や少人数の集まりの際の除菌・換気・マスク着用などの対策

【まちづくり、経済活動】

- ・マスク奨励
- ・展示館を臨時休館
- ・消毒、手洗い、マスクに加えて、混んできたら、相席にしないで、外で待っていただくこと。少し肌寒い日も寒気を優先していること
- ・営業自粛中（コミュニティカフェ部門やレンタルスペースの使用不可）

【社会教育】

- ・換気、除菌、スタッフの手洗い励行など
- ・室内での集まりをなくし、話し合いはWebでしている

【環境保全】

- ・空気清浄機、手洗い、除菌スプレー、マスク、少数で間隔をあけて着席
- ・事務所に除菌剤を置く、頻繁な換気、マスク着用

【文化・スポーツ】

- ・ノルディック運動の定例会などの主催イベントの全面中止。
- ・イベントの延期や定期的な教室の中止
- ・スタッフによる会場消毒、清掃、掲示呼びかけ（現在休館中）、スタッフの体温・健康調査

【国際協力】

- ・事務所の営業時間の時短、職員の交代勤務の実施

【そのほか、分野記入なし】

- ・出来るだけテレワークを実施中
- ・マスク着用、原則在宅勤務等の感染リスクの最小化

◇5. その他、活動分野における新型コロナウイルスの感染拡大による懸念や気になること等をお教えてください。

※活動分野ごとに主な回答を抜粋

【福祉：障がい者支援、高齢者支援、食育】

・いつ、施設で感染するかわからない不安でいっぱいです。もしもの時にどこがどんな支援をしてくれるのか心配しています。

- ・食イベントの開催ですが何時からはじめるのでしょうか？
- ・メンバー、障害当事者の引きこもり。症状の悪化
- ・利用者や指導員による感染持ち込み。
- ・施設内で感染者が出た場合の対処、施設外就労先での感染リスク
- ・大分県での外出自粛の解除を行ってよかったのか？
- ・団体には様々な職種の方々が居て仕事による立場から意見が2分している。日頃仲良く活動している人達が下手な仲違いを生まない為に、フリーランスへの対応など早急な国の施策を望む
- ・地域の中でコロナが出たり、地域の中（施設）に出てしまった場合は、自分施設の運営は、どうなるのか？と毎日話している。休んだ時の支援員の休業補償など
- ・当法人は、子どもから高齢者の共生型施設として活動しており、現状が持続すれば必要な人へ必要なサービスが提供できなくなるのではないかと心配しています。

また、自身や家族が感染する可能性の不安から、出勤を躊躇するスタッフが出てくる可能性も考えられ、そうなると更に悪循環に陥る可能性も考えられます。

高齢者は、清潔が保持できなればコロナ以外の感染症のリスクも高まります。かといって児童を受け入れなければ、医療従事者の保護者は出勤できなくなり医療崩壊にも繋がります。障害児や不安障害のある人は情緒も乱れており、感染リスクはあっても通常利用を望む保護者もいます。

学童支援においては、教育委員会、学校からの対応発信は薄く、また遅く。行政の学童管轄部署が申し訳なさそうに連絡を下さいます。温度差を感じています。（子ども部門へは食事提供も行っていますが、緊急休校により、現在は提供する日としない日を設定させてもらっています。）

それぞれの考え方や就労もあることから、早い段階での政府の方向性の発信を望んでいます。

【子育て支援、青少年健全育成、子ども食堂】

- ・イベント開催がいつ可能か
- ・臨時休校が延期になり保護者や子ども達の負担

- ・ こどもたちやご家族の安心安全に関する物資の補給や職員の柔軟な働き方の保障に関する体制の構築
 - ・ いつまで続くのか分からない漠然とした不安
 - ・ 組織別に対応がバラバラで感染終息の統一化が見えない
 - ・ 今、感染を拡大しないように自粛することを努力しても、これから持久戦になることを考えると、気をつけながらやり続ける方法を模索しなければ、と思っている。
 - ・ もし、当該活動施設の中で罹患者がでた場合の社会への影響
 - ・ 主に在宅で子育てをしている保護者などのストレスフル。虐待や面前 DV など
 - ・ 学校が休校になる中、子ども達が家に閉じこもり外遊びや文化活動などのびのびと活動できる場が失われていること。そのことによるストレス・健康面・家族関係への影響。
- イベント・公演等の自粛中止により地道に活動を続けてきた創造団体(劇団など)の収入が絶たれていること。文化関係者への支援策が示されていないこと。

【まちづくり、経済活動】

- ・ いつ終息するか見通せないこと
- ・ B市のまちなかは行政や医療関係が一番の顧客なので、不況、自然災害等その度に、消費低迷感が進んでいたが今回のことで「まちなか」利用の習慣が増々薄れそう。終息後の再生がうまくいく可能性を懸念している。
- ・ いつまでこの状態が続くか不安。収入源である教室開催やイベントが出来ないと給与が払えない。
- ・ 長期的には変わることは考えていない。それぞれの事業に対する進め方は検討が必要になると考えている。

【社会教育】

- ・ 赤ちゃんへのウイルス対策など、必要になるのではと思う
- ・ あまり、ないのですが、もし、緊急事態宣言が発令された場合の活動に対する強制力はどうか？その際の対応はどうなるかな？というところです。

【環境保全】

- ・ 拘束力のない非常事態宣言に効果は期待していない、むしろロックダウンを最低 3 週間した方が効果があると思う。また感染拡大しているところに平気で出かける人たちを散見しますので移動の制限を実施するほうが良いと思います。
- ・ 野外活動はどこまで制限されるのか？ 指針がないと活動を再開できない。
- ・ 森林療法 フィットンチッドを理解して貰い、環境が許すなら出来る人は家などに閉じこもっていないようにすれば。
- ・ 認証事業者の経営状況の悪化

【文化・スポーツ】

- ・ 活動の停滞。会員や指導者の退会や罹患など
- ・ 知的障がいのある人たちのメンタル

- ・各種大会、イベントが中止になり、生徒のモチベーションが低下することや、練習再開後の安全対策。
- ・高齢者の運動不足。地域住民の運動離れ
- ・開館利用者の減少と利用者の感染による利用中止、文化活動の停滞、活動団体の解散
- ・このまま長期化すると協会の存続が厳しい状況です

【そのほか、分野記入なし】

- ・どのように終息するのか目処が立たない
- ・大分県内、別府市で感染経路がわからない感染が多くなると休業せざるを得なくなると思います。すでに関東大阪のパソコン教室のグループでは休業せざるを得なくなっています。そのことにより長引けば家賃の支払い等できなくなると考え倒産を免れないでしょう。
- ・ワークショップが行えず、投資した資金の回収見込みがない。影響の期間が読めない。
- ・NPOの委託費の減額、講演会等の開催延期による自主事業の縮小、コロナと重なる災害時の対応および災害ボランティアの受け入れ

◇回答いただいた団体の主な活動地域

大分県内全域	・・・ 27 団体
県北部（中津市、豊後高田市、宇佐市）	・・・ 4 団体
県東部（別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町）	・・・ 4 団体
県西部（日田市、玖珠郡）	・・・ 0 団体
県中部（大分市、臼杵市、津久見市、由布市）	・・・ 20 団体
県南部（佐伯市）	・・・ 2 団体
県豊肥（竹田市、豊後大野市）	・・・ 5 団体

■総評

大分県内では、NPO法人・市民活動団体の状況がなかなかクローズアップされていなかったが、各地域で、または様々な分野において活動や運営など大きな打撃を受けていると今回の調査で明らかになった。独自の商品・サービス提供で地域貢献している団体から、福祉や環境面の集会や子育て・教育面などのイベントや研修の開催、施設の運営管理面など、ほぼ社会サービス全分野に広がっており、影響の大きさが伺えた。

いまだ収束時期が不透明な中、また自粛要請も続く中、今後もマイナスの影響が出てくると考える団体は多く、事業の変更や運営の体制の変更・リストラなど、継続のために様々な対策をとる団体が増えると思われる。社会全体で難局を乗り越えないといけないのだが、NPOの自助努力だけでは限界があり、資金や環境の整備、情報提供などの公的支援を願う意見も多い。

今回の調査では、新型コロナウイルスの影響の初期的な時期であり、まだ一部のみが顕在化しているだけかもしれないので、継続的に状況を見ていく必要もあると同時に、効果的な対応策を検討していくことが要求される。NPO法人・市民活動団体の関係者が感染を免れ、引き続き社会サービスの担い手として活動できる環境維持を願いたい。